

血小板(カナマイシン管)				201300
				担当部署
PLT(カナマイシン)				血液
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		CBC に準ずる		
検査受付時間		緊急対応 (24 時間)		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	40カナマイシン	EDTA-2K カナマイシン	2 mL
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)凝固した検体 (凝集コメント報告許容) 2) サンプリングできない検体		
保管検体の保存期間		室温・当日中 (追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		
測定時間		当日中		
生物学的基準範囲		設定なし		

臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	10 ⁴ /μL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		CBC に準ずる				
臨床的意義		<p>EDTA依存性偽性血小板減少の発生頻度は0.1~0.2%で、種々の疾患を有している人、抗菌薬投与患者、自己免疫疾患に多いといわれていますが、健常人にも認められます。その機序の詳細は不明ですが、EDTAが存在すると血小板表面の抗原が変化し、免疫グロブリンが反応して凝集を引き起こすと考えられます。</p> <p>EX 共通 CL1084 : 「三輪血液病学 2006」1647-1648</p>				